

平成29年度 事業報告

平成29年度事業の実施にあたっては、事業計画に基づき国際交流促進事業、国際理解促進事業、多文化共生促進事業、国際村施設管理運営事業の4つを主要な事業として、地域住民や国際交流団体、ボランティアの方々の参加と協力を得ながら、各種事業に取り組みました。

平成29年度に実施した主な事業は次のとおりです。

1. 国際交流促進事業

地域住民が国際交流を身近に体験する機会として、関係団体、ボランティアとの連携を図りながら、世界各国の文化・芸能・料理・音楽等を紹介する各種の催しを実施した。

(1) 交流イベント開催・支援事業

①第23回国際村ワールドバザールの開催 (実行委員会)

- 期 日 6月11日(日)
- 参加者等 約3,500名
- 会 場 国際村
- 内 容 国際村登録団体・ボランティアによる企画開催
世界の民族料理の模擬店、大道芸、フリーマーケット、
ステージ発表、関係団体のパネル展示

②出羽庄内国際村音楽祭 (実行委員会)

- 南米フォルクローレ音楽
「ロス・トレス・アミーゴス・コン・アルパ」
- 期 日 9月9日(土)
- 来場者等 283名
- 会 場 国際村ホール
- 内 容 アンデスのフォルクローレとアルパの演奏

③新年を祝う会

- 期 日 2月4日(日)
- 参加者等 約150名
- 会 場 国際村ホール
- 内 容 日本語教室関係者、語学講座関係者、ボランティアなどの参加者が一人一品を持ち寄って行うパーティーで、豆まき、ゲーム、歌や踊りなどのステージ発表、日本文化体験(抹茶コーナー、書道コーナー)等を行った。

(2) 交流事業の開催支援／実施

①コロラド州青年訪問団 受け入れ事業

- 期 日 6月5日～6月13日
- 参加者等 10名（内、引率者1名）
- 会 場 庄内地域各所
- 内 容 鶴岡市を中心にホームステイの受入を実施。朝暘第三小学校、鶴岡東高校、鶴岡中央高校の児童・生徒との交流などのプログラムを提供。また、ワールドバザールにボランティアとして参加し、地元の人との交流を深めた。

2. 国際理解促進事業

(1) 語学講座の開講

学習者のレベルにあわせ英語、中国語、韓国語の講座を開講するとともに、ドイツ語講座を新たに開催。

テキストなど教材を使用しての語学学習、また外国出身者が講師を担当することにより、言語の習得と共にその国や地域に対する理解を深めた。

英語、中国語、韓国語、スペイン語、ベトナム語、フランス語及び日本語では、時々話題で自由に話せるフリートーク型講座を開催した。

①外国語講座

- 英 語 55名
- 中 国 語 51名
- 韓 国 語 34名
- ドイツ語 16名
- 合 計： 156名

②フリートーク型講座

- 英 語 隔週木・毎週土曜日
- 中 国 語 毎週木・土曜日
- 韓 国 語 月3回土曜日
- スペイン語 不定期日曜日／土曜日
- ベトナム語 毎週日曜日
- フランス語 不定期土曜日
- 日 本 語 不定期日曜日
- 参加者数 延べ 1,206名

③こどものための中国語講座

- 期 日 4月9日（日）～3月25日（日）全22回開催
- 指 導 者 指導者1名
- 参 加 者 23名

- 内 容 中国語の発音（ピンイン）、中国語での簡単な会話、中国の童話、唐詩の朗読など。

④韓国語 特別講座

- 期 日 10月29日（日）
- 指 導 者 指導者4名
- 参 加 者 19名（うち賛助会員1名）
- 会 場 国際村ホール
- 内 容 「韓国語を使って旅に出よう！」というテーマで、旅行に関係した様々な場面を設定し、実践的な韓国語会話の講座を実施した。

⑤英語 特別講座

- 期 日 2月25日（日）
- 指 導 者 指導者4名
- 参 加 者 18名
- 会 場 国際村ホール
- 内 容 旅行中に遭遇すると思われる様々なシーンごとにブースを設け、その場にあった内容の会話をネイティブスピーカーと一緒に作るなど、実践的な会話講座を実施した。

(2) 国際理解講座等の開催

子どもから大人まで、それぞれの興味に応じて参加できるよう、料理や体験講座など国際理解のためのカリキュラムを作成し実施した。

①せかいの台所：料理講座

庄内在住の外国出身者を講師に迎え、料理を通して交流し、その地域の言語や文化などの理解を深めた。（年6回開催）

- 指導者出身国（地域）
マレーシア、エクアドル、モザンビーク、ドイツ、韓国、シリア

- 参加者 延べ 105名
- 会 場 国際村調理実習室、和習室

②ワールドコミュニケーションクラブ

- 指 導 者 マシュー・ファレル氏（庄内在住 ALT）
マシュー・コルバリー氏（庄内在住 ALT）
- 参加者等 中学生 延べ69名
- 会 場 国際村研修室、和習室ほか
- 内 容 月に1回実施し、英語を使いながら料理をしたり、ゲームや寸劇をするなど、英語を実践的に学んだ。

③太極拳体験講座

- 期 日 4月5日(水)～3月28日(水)
入門コース：水曜日、スキルアップコース：木曜日
- 指導者 覃 莉莉 氏(上海出身/酒田在住)
- 参加者 入門コース 7名、スキルアップコース 15名
- 会場 国際村ホール、和習室
- 内容 中国武術の一門派である伝統太極拳の体験・習得

④フレンドシップサロン

外国人や海外活動経験者を講師に迎え、様々な知識や理解を深め、参加者が自由に意見交換できる講座を3回開催した。

- 期 日
10月28日(土) 「フランスは、本土だけじゃない！」
1月13日(土) 「エジプトについて知ってみよう」
3月11日(日) 「ルワンダから日本へ～ロング・ジャーニー～」
- スピーカー サラ・ミヨ氏(フランス出身)
ヌール・スルタン氏(エジプト出身)
インガビレ・アリネ氏(ルワンダ出身)
ンゼイマナ・アラン氏(ルワンダ出身)
- 参加者等 延べ合計：72名
- 会場 国際村喫茶店「ふるさと」

(3) コロラド訪問団派遣

①中高生・社会人コロラドスタディツアー

- 期 日 8月4日～8月12日 9日間
- 参加者等 中高生 5名
- 内 容 現地英語教師による英語レッスン、乗馬やラフティング等の自然体験、日系人会の行事への参加、ホームステイ先での家族との交流などを通して、国際感覚の育成、英語実践力の向上、国際理解を深めた。

②英語教育を学ぶコロラドスタディツアー

- 期 日 8月4日～8月15日 12日間
- 参加者等 3名 (英語塾講師2名、高校生1名)
- 内 容 現地の英語教育専門機関のプログラムに参加し、英語を母語としない学習者に対する英語教育法を学んだ。また、現地の小学校、高校への訪問や教育関連施設へ訪問を通して、多文化社会における教育環境作りへの理解を深めた。

3. 多文化共生促進事業

在住の外国出身者が地域で安心して暮らせるよう、日本語指導、日本文化の体験、生活相談業務、情報の収集提供など各種事業を実施した。

(1) 日本語教室運営支援事業

毎週日・火・土曜日に開催している国際村日本語教室の運営の支援を行った。

①日本語教室

- 開催日 毎週日・火・土曜日及び学習者のニーズに応じて実施
- 体制 日本語指導者ボランティア 46名
- 学習者 116名(23ヶ国・地域)
アフガニスタン、アメリカ、イギリス、インドネシア、エジプト、カナダ、カメルーン、ケニヤ、シリア、スペイン、タイ、ドイツ、ハンガリー、フィリピン、フランス、ベトナム、ボリビア、マレーシア、ルワンダ、韓国、中国、台湾、日本

②第7回日本語スピーチコンテスト in 庄内

(主催：実行委員会、事務局：庄内町国際交流協会)

庄内地域の国際交流関係機関・団体、日本語教室等と連携し、庄内在住の外国出身者による日本語スピーチコンテストを実施した。

- 期 日 11月26日(日)
- 参加者等 発表者：10名(鶴岡市7名)
来場者：約90名
- 会 場 庄内町文化創造館「響ホール」小ホール

③日本語教室お花見会

- 期 日 4月16日(日)
- 参加者等 約50名
- 内 容 日本語教室の学習者とその家族、指導者らがお花見をしながら懇親を深めた。

④日本料理講座：器の会

ボランティアによる外国人向けの日本の家庭料理講習会を開催した。

- 期 日 6月25日(日)
いなり寿司、肉そば、餡子を使ったデザートなど
- 11月19日(日)
天ぷら、おでん、さつまいもご飯、庄内柿の酢の物
- 参加者等 延べ18名

⑤ぶどう狩り&芋煮会

- 期 日 9月24日(日)

- 場 所 櫛引の果樹園
- 参加者等 64名
- 内 容 ぶどう狩りと芋煮会を通して、日本語教室の学習者と指導者が懇親を深めながら、日本の季節行事を体験した。

⑥田川地区運動会参加

- 期 日 5月28日(日)
- 参加者等 約40名
- 内 容 田川地区で開催される地域の運動会に日本語教室として参加し、地域住民との交流を深めるとともに、日本の文化や習慣などについて学ぶことができた。

⑦酒田祭り参加

- 期 日 5月20日(土)
- 参加者等 約50名
- 内 容 酒田青年会議所からの参加依頼により、日本語教室の課外活動として行事に参加。地域行事を体験しながら地域の人との懇親を深め、日本の文化についても学んだ。

(2) 生活相談業務実施事業

生活相談業務担当者として国際交流専門員を配置し、必要に応じ行政、他の機関とも連携し、相談に対応した。

①生活相談窓口の設置

在住外国人及びその家族の生活相談等の業務を実施した。

- 生活相談等 98件
- 内 容 教育・子育て： 26件 医療・福祉： 9件
生活環境： 9件 労働関係： 5件
家族・家庭： 3件 年金・税金： 1件
その他(在留資格等)： 45件

②通訳・翻訳の対応

- 依頼件数 94件(通訳74件、翻訳20件)
- 依頼主 個人54件、公的機関16件、企業24件、その他9件
※ 1件の依頼が複数の依頼主によるものなどのケースがあったため、依頼総数と依頼主別の計は一致しない。
- 言 語 英語・中国語・韓国語・ベトナム語・タイ語・イタリア語
- 内 容 医療関係： 33件 生活全般： 11件
教育関係： 11件 観光関係： 11件
その他： 28件
- 対 応 国際村スタッフ： 59件 通訳ボランティア： 24件
その他： 5件

※ 依頼後、実施されなかったケースなどがあったため、依頼件数と対応者の数は一致しない

③ コミュニティ通訳者自主勉強会

外国出身者も参加して医療や教育、観光など通訳シミュレーションを行いながら専門用語や適切な表現などを習った。

中国語、英語、韓国語の3グループで、それぞれ毎月1回の勉強会を行った。

- 期 日 毎月1回（日曜日）開催
- 中国語 11回開催 参加者： 78名
- 英語 11回開催 参加者： 65名
- 韓国語 10回開催 参加者： 35名
- 会場 国際村研修室、応接会議室

④ 生活ガイドブック・情報マップの配布

地域在住の外国出身者向けに、生活に必要な基本情報を記載した多言語版生活ガイドブックとマップを関係機関に配布した。

なお、平成29年度は英語版生活情報マップを50部、国際村の相談窓口及び日本語教室を紹介するパンフレット『ようこそ 出羽庄内国際村へ』を90枚増刷。

- 作成言語 英語、中国語、韓国語

⑤ 中国帰国者向けのスクーリング

山形県の委託により、中国帰国者定着促進センターの中国残留帰国者を対象とするスクーリング「遠隔学習課程」の日本語講座を開講した。

- 期 日 4月～3月、計32回
- 参加者 4名
- 場 所 国際村研修室等

(3) 情報収集提供事業

国際化に対応するための情報の収集・提供するためのシステムづくりを進めるとともに、ホームページの充実を図った。また会報を発行した。

① インターネットによる情報提供

ホームページやフェイスブック等で講座やイベントの告知、報告など、最新情報を提供した。

② 会報の発行及びイベント情報などの提供

「村だより」を発行し、会員に国際村のイベント情報などを提供した。

③ インターネットコーナーの設置

無料で使えるパソコン・インターネットコーナーを設置し、来館者、在住外国人の利便に供した。

4. 国際村施設管理運営事業

鶴岡市より、平成26年度から3年間、国際村の指定管理者に選定され、引き続き施設の使用許可に関する業務を受託するとともに、これまで市が直接行ってきた施設設備の維持管理業務についても受託し、利用者の利便性、サービスの向上が図られるよう努めた。

5. その他

(1) 賛助会員

○平成29年度実績

- ・個人会員 207名
- ・法人会員 10口

(2) 財団評議員会・理事会の開催状況

①評議員会

定時評議員会（平成29年6月22日）

- 第1号議案 平成28年度収支決算について
- 第2号議案 評議員の選任について
- 第3号議案 理事の選任について
- 第4号議案 監事の選任について

臨時評議員会（平成29年12月20日）

- 第1号議案 理事の補欠選任について

②理事会

第1回理事会（平成29年5月18日）

- 第1号議案 平成28年度事業報告について
- 第2号議案 平成28年度収支決算について
- 第3号議案 評議員の候補について
- 第4号議案 役員の候補者について
- 第5号議案 平成29年度定時評議員会の開催について

第2回理事会（平成29年6月2日 みなし決議）

- 第1号議案 理事の補欠候補者について

第3回理事会（平成29年6月23日 みなし決議）

- 第1号議案 理事長の選定について
- 第2号議案 常務理事の選定について
- 第3号議案 常務理事への事務局長職の委嘱について

第4回理事会（平成29年12月1日 みなし決議）

- 第1号議案 理事の補欠候補者について
- 第2号議案 臨時評議員会の開催について

第5回理事会（平成29年12月1日）

第1号議案 理事長の選定について

③監事監査

平成28年度事業報告及び収支決算に関する監査（平成29年5月16日）